

2023年(令和5年)  
1月1日 曜日  
第1902号

# 京都自動車新聞



旧年中は格別のご高配を賜り  
まことに有難く厚く御礼申し上げます。  
本年もより一層のご支援を賜りますよう  
心よりお願い申し上げます。

株式会社 京都自動車新聞社

発行所 京都自動車新聞社 京都市伏見区竹田向代町 51-5 (京都自動車会館内) 電話 (075) 672-0552 ファクス (075) 682-0205 メール access@kyotojidoshanp.jp



プロスポーツの発展に  
は、チームを活気付ける  
ファンの存在や、地域と  
の密接なつながりが欠か  
せない。それは、地元  
根ざした営業活動を展開  
する自動車関連業として同  
じことだろう。

写真は昨年11月に開催  
された「トラックフェス  
タ」での一幕。京都ナン  
バーのポルトレラの  
横でポーズをとるのは、  
バスケットボールBリー  
グ1部の京都ハンナリー  
ズの公式マスコット「は  
んニヤリン」だ。近年、  
何かと注目を集めるハ  
ンナリーズだが、マツ  
シマホールディングスが



## 2023 冬が過ぎ春が訪れる年

「ほんニヤリン」の傍  
らから精悍な顔つきでレ  
ンズをにらむパールホワ  
イトの「働クルマ」は  
問題」と「2024年問  
題」と呼ばれ、時間外割  
増賃金率の引き上げと時  
間外労働の上限規制をそ  
れぞれ指す。いずれも働  
像に難くない。  
思えば、これほどまで

「はんにゃりん」の傍  
らから精悍な顔つきでレ  
ンズをにらむパールホワ  
イトの「働クルマ」は  
問題」と「2024年問  
題」と呼ばれ、時間外割  
増賃金率の引き上げと時  
間外労働の上限規制をそ  
れぞれ指す。いずれも働  
像に難くない。  
思えば、これほどまで

今年講じられる車検証の  
電子化も、業界全体に相  
応の影響を及ぼすのは想  
像に難くない。  
思えば、これほどまで

戦略を打ち出したのが16  
年。以降6、7年のうち  
に、礎自体が大きく様変  
わりしたのは、もはや疑  
いようもない事実だ。た  
だ、われわれからすれば  
今がその過渡期に当たる  
のか、それともいまだ前  
ぶれでしかないのか、は  
たまた変化が常態化した  
のかすら確証を持てず  
いる。ただ一つ分かって  
いるのは、今業界が後世  
の語りぐさになる時代を  
生きているということだ。

23年は卯年。十干(じ  
っかん)は癸(みずの  
と)で、十干十二支だと  
40番目の「癸卯(みずの  
と)」にあたる。癸卯  
は厳しい冬が去り、春の  
兆しが訪れたことを表し  
ている。現代に当てはめ  
ると、「冬」は言うまで  
もなくコロナ禍だ。人々  
はコロナ禍を尻目によろ  
やく歩み出す。希望あふ  
れる未来に向かって。

新年あけましておめでとうございます。  
今北自動車工業は、本年もボルボトラックとともに  
運送事業者様のパートナーとして  
京都の物流業界を精一杯応援してまいります。



ボルボトラック京都府ディーラー

コストダウンの力になりたい  
今北自動車工業株式会社  
京都市右京区西院月双町76番地 [カドノ大路五条上ル一筋目東入]



TEL (075) 311-2800  
FAX (075) 321-6339

